



# FAS住まい新聞

発行責任者  
**㈱福地建装**  
北斗市中野通 324  
Tel 0138-73-5558  
fax 0138-73-8460

## 温熱環境を確保するには

住宅の温熱環境を確保するには、断熱はもとより気密性を持たせることが必要です。気密を持たせるということは、魔法瓶の中で暮らすようなもの。

魔法瓶の中で生活することを想像すると、とても息苦しく圧迫された感じになることでしょう。

住宅の多くは窓や玄関ドア、換気扇などから家全体の換気がされています。たまに、家は多少隙間があるくらいが良いという工務店業者さんもありますが、実際にはどのくらいの隙間を言っているのかの根拠が曖昧です。

事実隙間が多いと室内と外気温の差が大きい時や、強風の時などは何倍もの風が家の中に入り込んできて温熱環境として良くありません。

## なぜ、住宅に気密が必要？

住宅に気密が必要な理由は、省エネと家の中の温度や湿度を一定に保つためですが、温度や湿度を適正に保つことで健康にも良い影響があるはずですが。

温度だけでなく調湿のためにも、気密性の良い住宅をつくる必要があります。

気密性の良い住宅では当然換気が必要になりますが、必要以上の換気は、気密の意義を無意味にしてしまいます。

正しい気密のメリットとしては、省エネ効果が高いこと、冷暖房費が少なくて済むこと、温度差が少なくなること、ハウスダストの抑制につながることで、湿度の調整もしやすくなることなどがあげられます。

この手法をあやまれば、家を腐らせたりカビやダニが発生しやすい環境になってしまう場合もあります。

気密住宅の良さを引き出すには、断熱、気密、換気、暖冷房をバランスよく計画する必要があります。

## 温熱環境を熟知した工務店に依頼を

新築でもリフォームの相談でも断熱・気密・換気・冷暖房のバランスを熟知している工務店へ依頼する事が賢明でしょう。

「ファースの家」を採用している工務店は定期的に研修会参加や情報収集を行っており温熱環境に関する事はもちろんのことですが、それ以外の知識も豊富ですので、住宅に関するご相談に是非ご活用下さい。

## 実際に体感する

夏は涼しく、冬暖かい。昨今どこでも使われているキャッチコピーですが、実際に住んでみたら、「冬は寒く暖房をしている部屋から出たくない」「夏はエアコンをフル稼働させなければ暑くて居られない」「カビが生えた」「床材がブヨブヨし始めた」「冷暖房費用が高く明細を見るのが怖い」このような事はすべて住んでから実感する事となります。

最初からこのような事が発生しない家づくりを行わなければなりません。価格やデザインにとらわれがちですが、外見や見た目だけではなく、10年先の家族構成、家の状態（メンテナンスや光熱費）、家の暖かさ、涼しさ、空気の良いさも吟味する必要があります。

ファース加盟工務店では、全国各地で「ファースの家」の性能が体感見学できる構造見学会・完成見学会を開催しております。

寒い今時期は特に暖かさを体感でき、家づくりのヒントがたくさん詰まった見学会となっております。

お近くで見学会を開催の際は是非とも足を運んでみて下さい。

「ファースの家」の見学会情報は随時ファース本部のポータルサイトに掲載しておりますので、ご確認ください。

「ファースの家」ポータルサイト <http://www.fas-21.jp/>

(著 中村 文紀)

## 孝太の知恵袋

### 灯油の汚れやにおいを取るには

ストーブに使う灯油を、うっかりこぼしてしまったって？  
においやシミは、雑巾で拭いても、なかなか取れないよ。  
そんな時は、洗濯用の粉末洗剤を使うといいんだよ！  
洗剤の粉を素早く振り掛けて、灯油を吸い取らせるんだよ。  
その後ね、吸い取った洗剤の粉を、ほうきで掃き捨てればいいんだよ。  
汚れ具合によっては2、3度これを繰り返してみよう。  
最後にね、住宅用洗剤を溶かした液で拭き取って、水ぶきしておくんだよ。  
嫌なにおいも残さないで、汚れがきれいに取れるからね。

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで！



ファースの家

検索

